

「栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例行動計画第3版（案）」に対する
パブリックコメントの結果について

市では市民主役、市民主導のまちづくり実現のため、「栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例行動計画第3版（案）」にかかる、パブリックコメントを行いました。その結果ならびにいただいた意見の概要とそれに対する市の考え方をお知らせします。

【意見募集の概要】

案件名 : 栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例行動計画第3版（案）
意見募集期間 : 令和7年1月27日（月）～2月7日（金）
意見募集の周知 : 広報りっとう、市のホームページ
閲覧場所 : 市ホームページ、市役所情報公開コーナー、（市役所1階）、自治振興課（市役所3階）、各学区コミュニティセンター
意見の提出方法 : 郵送、持参、ファックス、Eメール

【意見募集の結果】

提出件数 : 1件（1人）
意見の概要と市の考え方は以下のとおりです。

番号	項目	意見の概要	意見等に対する考え方
1	P.35 （4）栗東市 市民参画と 協働による まちづくり 推進条例（全 文）附則の7 ～9行目	（原文） 私たち市民が、人と人とのつながりを大切にし、様々な人が行きかい、ふれあい、<u>安心して暮らせるまちを、知恵を出し合い、力をあわせて自分たちで築きあげ、活力あるまちを目指し、このまちを育んでいきたいと思います。</u> （修正文案） 私たち市民は、人と人とのつながりを大切にし、様々な人が行きかい、ふれあい、<u>知恵を出し合い、力をあわせて、自分たちで安心して暮らせるまちを築きあげ、活力あるまちを目指し、このまちを育んでいきたいと思います。</u>	本計画は、本編2ページの（1）行動計画の目的に記載されておりますとおり、「栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例」を具現化することを目指して作成しております。いただきましたご意見に関しましては、条例の部分についてのものであり、本計画には資料編と

		理由説明 ○「私たち市民が」を「私たち市民は」に変更する理由 ・この文の主語である「私たち市民」は、その文面から、主観的な判断を加えずにそのまま表現される「現象文」ではなく、主観的判断で表現される「判断文」に該当する様に思われます。この場合は、「が」よりも「は」の方が適当ではないかと思います。 ・この主語は、文末の「このまちを育んでいきましょう。」まで係っている様に思われます。この場合、「が」よりも「は」の方が適当ではないかと思います。 ○「安心して暮らせるまちを、知恵を出し合い、力をあわせて自分たちで築きあげ、」を「知恵を出し合い、力をあわせて、自分たちで安心して暮らせるまちを築きあげ、」に変更する意見の理由 ・「知恵を出し合い」、「力をあわせる」の後に、「自分たちで安心して暮らせるまちを築きあげ」と続けると文がすっきりする様に思います。	して掲載しております。そのため、条例の内容については、本計画の修正・変更の対象には含まれておりません。今後、条例改正の機会があった際の参考意見とさせていただきます。
--	--	---	---